

# ニュートン別冊『哺乳類ビジュアル大事典』(1刷) 正誤表

ニュートン別冊『哺乳類ビジュアル大事典』に、以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

ページ	位置	誤	正
20	右下イラストの説明	ヒメウォンバット	ウォンバット（ヒメウォンバットともいう）
34	本文3段下から3行目文中の読み	ぜんみ け そうりょう 全身の毛の総量	ぜんしん け そうりょう 全身の毛の総量
65	「柔軟さの秘密は肩」の説明 文中4行目、6行目の読み	あたまがわ お がわ 頭側、尾側	とうそく び そく 頭側、尾側
68	68ページ小見出し、小見出し後の1, 2, 3, 5行目 69ページ右下キャプション タイトル	かんみ 甘味	あまみ 甘味
94	上の写真の説明	ベネットキノボリカンガルー 学名: <i>Dendrolagus bennettianus</i> IUCN レッドリスト評価: 準絶滅危惧 (NT) キノボリカンガルー属は有袋類だが、カンガルーとは見た目も生息する場所も大きくなる。オセアニアには全部で17種と亜種のキノボリカンガルーがあり、そのうちの2種はオーストラリア北部に、残りはニューギニア島に生息している。写真はオーストラリアに生息するベネットキノボリカンガルーだ。山岳地帯の樹上で生活し、葉を主食とする。もともと、先住民族の食糧とされ、数を減らしてきていた。さらに現在では森林の伐採によって個体数の減少が進んでいる。キノボリカンガルーの一種であるウォンディウォイキノボリカンガルーは、絶滅したと考えられてきたが、2018年に約90年ぶりに生息が確認された。	キノボリカンガルーの仲間 学名: <i>Dendrolagus</i> sp. キノボリカンガルー属は有袋類だが、カンガルーとは見た目も生息する場所も大きくなる。オセアニアには全部で17種と亜種のキノボリカンガルーがあり、そのうちの2種はオーストラリア北部に、残りはニューギニア島に生息している。オーストラリアに生息するベネットキノボリカンガルーは山岳地帯の樹上で生活し、葉を主食とする。もともと、先住民族の食糧とされ、数を減らしてきていた。さらに現在では森林の伐採によって個体数の減少が進んでいる。またウォンディウォイキノボリカンガルーは、絶滅したと考えられてきたが、2018年に約90年ぶりに生息が確認された。
95	下の写真の説明	種名: ハリモグラ	ハリモグラ